

独立行政法人日本芸術文化振興会との連携協定締結式について(報告)

この度、当機構と独立行政法人日本芸術文化振興会(河村潤子 理事長)は、連携協定を締結しました。締結にあたり、令和4年4月21日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて締結式が執り行われましたのでご報告いたします。締結式の中では、日本芸術文化振興会が行う太神楽の養成研修の講師である鏡味仙志郎氏と鏡味仙成氏による太神楽が披露されました。

本協定は、国立青少年教育振興機構の取り組みと、日本芸術文化振興会における「青少年への伝統芸能の普及」への取り組みが親和性の高いことから、相互の継続的な協力関係を構築し、青少年が伝統芸能に触れる機会や場の提供を通じて、青少年教育の振興及び青少年の健全育成並びに伝統芸能の振興普及に資することを目的としています。

令和5年秋頃から国立劇場が再整備期間となることから、今後は国立オリンピック記念青少年総合センターを使用して、青少年が伝統芸能を体験できる機会の創出や、伝統芸能伝承者の養成事業を活用した青少年対象のワークショップなどを実施する予定です。

<連携事項>

- (1) 青少年教育の振興及び青少年の健全育成並びに伝統芸能の振興普及に関すること
- (2) 施設の利用に関すること
- (3) その他、両機関が必要と認めること



協定書に署名した 日本芸術文化振興会の河村理事長(右)と当機構の古川理事長(左)



鏡味仙志郎氏、鏡味仙成氏による太神楽の実演

■参考:独立行政法人日本芸術文化振興会ホームページ「独立行政法人国立青少年教育振興機構と相互連携協定を締結しました!」(2022年4月22日)<https://www.ntj.jac.go.jp/topics/top/2022/503.html>